

2016 3/22

No.2015

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



「横浜マラソン2016」が13日、開催された。2回目の今年も約2万5千人のランナーがエントリー、潮風を感じながら横浜の観光名所を巡るコースを駆け抜けた。



# 政経かながわ

2016 3/22 No.2015

## contents

視点・点描	3
帰ってきた『レジェンド』	
講演録	4
「キリンビールの経営改革」 次なる100年への挑戦 キリンホールディングス元会長 荒蒔 康一郎	
経済	8
米国老舗企業、相次ぐ日本離れ フォード撤退、マックは株売却	
経済	10
シャープ、再建へ足掛かり 鴻海傘下で有機EL開発	
科学	12
決まらない使用済み燃料の処分 課題山積の原子力政策	
くらし2016	14
高齢者評価で町づくり支援	
広告珍談	16
広告はたのしい⑫ クルマよ、走れ！	
NNAアジア経済リポート	17
神奈川景気データファイル	18
神奈川景気データファイル	19

### 事務局だより

◇設立50周年記念講演会、

会員交流会

2016年4月19日（火）

ホテルニューグランド

▽記念講演会

午後2～3時

本館2階「レインボーボールルーム」

講師は歌手、女優のあべ静江さん

演題は「私の歩いてきた道～みずいろの手紙と私」

▽会員交流会

午後3時15分～4時30分

タワー館3階「ペリー来航の間」

◇横浜定例講演会

2016年5月12日（木）

午後1時30分～3時

ロイヤルホールヨコハマ5階「リビエラ」

講師は日本銀行横浜支店長の岩崎淳氏

演題は「最近の金融経済情勢について」

# 視点



## 帰ってきた、レジエンド

「やつと神奈川に帰つてこられましたよ」。日焼けした精かんな顔を緩ませ、川口能活選手がそう話した。「日本の守護神」といわれた男が、今季から相模原市にホームタウンを置くSC相模原でプレーすると聞き、2月に開かれたクラブのイベントに顔を出した。川口選手が高校サッカーの強豪、静岡・清水商から鳴り物入りで横浜マリノスに入団したのが1

イツ大会で正GKを務めた。

練習場は日替わり。電車移動を

994年。当時は日本代表の正GK松永成立さんが君臨し、1年目は出場がなかつたが、2年目に訪れたチャンスを一発でもとにした。その後、アトランタ五輪で布拉ジルを破つた「マイアミの奇跡」や、日本が初めてワールドカップ出場をつかんだ「ジョホールバルの歓喜」でゴールマウスを守つた。W杯はフランス大会やド

年齢は一回りも違つが、発する言葉や自分に厳しく練習に取り組む姿に、いつも感銘を受けたものだ。新人のころから知つてゐるだけにいつまでも若手のような印象もあるが、もう40歳になつた。

年、J1磐田で8年。ここ2年はラモス瑠偉監督率いるJ2岐阜でプレーした。そして昨年秋、高校の2年先輩であるSC相模原の望月重良代表からの直接のオファーに応えて移籍を決意した。実に15年ぶりの神奈川復帰である。

担当記者として、瞬く間に大き

く成長を遂げる過程を取材した。日本代表でGK最多116試合出場の「レジエンド」が、不惑を迎えてなお現役にこだわる。その理由は今シーズンに書いてある。直前のけがで13日の開幕戦は欠場したが、大きな故障を何度も乗り越えてきていた。闘志満々で戦列に戻つてくるだろう。主将を担う背番号23を見るため、相模原に足を運ぶ機会が増えそうだ。

(神奈川新聞社整理部長

岡部 伸康)

横浜を離れてからは、海外で5年、J1磐田で8年。ここ2年はいえないが、苦にする様子はない。ラモス瑠偉監督率いるJ2岐阜でプレーした。そして昨年秋、高校

する日もある。恵まれた環境とはいえないが、苦にする様子はない。ファンサービスにも気さくに応じて地元になじんでいる。

# クルマよ、走れ！

チャップリンが1936年に制作した「モダン・タイムス」は、シングルが流れ作業に組みこまれ、機械の一部になるという、現代社会を風刺した映画であった。チャップリンが発想したのは、

フォード自動車の流れ作業ではなかつたか。有名な、T型フォードの生産ラインである。

フォード・システムという、ベルト・コンベアの採用によって、製品は各部品にいたるまで均一化され、生産台数は飛躍的にのびた。

その代表的な製品が「T型フォード」。フォードを、巨大自動車メーカーに推し進める成果を生みだした。

T型フォード。「歐米最新式自動車および付属品輸入販売」とある。広告主は三井物産の機械部。

右の広告が「北米デトロイト市フォード会社製造の自動車は、製作堅牢、体裁優美にして、価格廉

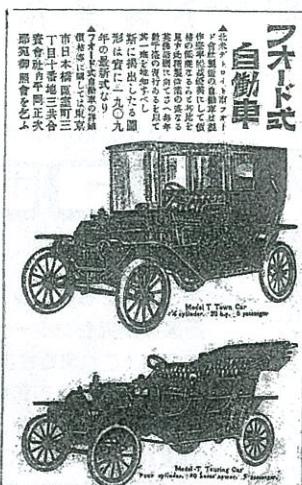
価なることその比を見ず。この種

製造業の盛んな英仏諸国に向いてさえ、毎年、数千台の売れ行きあるをもってその一班を推知すべし」「ここに掲出したる図形はじつに一九〇九年の最新式なり」と。

1909（明治42）年3月、時事新報に掲載された新聞廣告である。その

ころ、T型フォードが流れ作業で生産されていた。

左の広告のイラストもT型フォード。「歐米最新式自動車および付属品輸入販売」とある。広告主は三井物産の機械部。



右の広告は、1909（明治42）年1月、時事新報に掲載された。日本に初めて自動車が出現したのは1899（明治32）年、大倉喜八郎が8馬力の蒸気式を輸入した。本誌前号に記した蒸気エンジンの自動車は1769年、フランス人キュニヨーが発明した。ガソリンエンジンの自動車は1876年、ドイツのオットーが発明。ダイムラー、ベンツなどが、つぎつぎと開発をすすめた。

フォード側が販売店を代えたのだろうか。本誌前号に記した蒸気エンジンの自動車は1769年、フランス人キュニヨーが発明した。ガソリンエンジンの自動車は1876年、ドイツのオットーが発明。ダイムラー、ベンツなどが、つぎつぎと開発をすすめた。

その翌年、皇太子殿下のご成婚を祝つて、サンフランシスコの日本人会が、電気自動車を献上。さつそく宮内省が試運転。道行くおばあさんが、馬がない馬車がやつて来たと驚いた。運転手もびっくりした。おばあさんを迂回して、土手にのり上げた。運転手はおえらいさんに報告すると、とんでもない。そんな物騒なものはとても殿下に差し上げられない、と、倉庫入りしたという。

日本で初めて製作されたのは蒸気自動車、1904（明治37）年のこと。ガソリン自動車は07（明治40）年、国産化された。

（図）T型フォードの広告・右は美術工ッセイスト、茅ヶ崎市在住